

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！
京都市会議員

発行：2020年7月26日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



With コロナ 政治の力で支え合う社会を!



ばば府議とキャラバン宣伝！
団地からも大きな声援が！

7月12日に馬場こうへい府議と西野さち子市議は、国民の暮らしに背を向け、積極的なコロナ対策や暮らし応援に予算を回さない安倍政治を早く終わらせようと、醍醐地域9カ所をキャラバン宣伝しました。西野市議は「桜を見る会からモリカケ問題、黒川検事長の定年延長、元法務大臣夫婦の公職選挙法違反まで、止まるところを知らない安倍内閣の腐敗が、国民の暮らしをますます大変にしています。声を挙げれば政治は変わります政治を変えるために、ご一緒に声を挙げましょう。日本共産党は野党共闘をさらに進めるために頑張ります」と訴えました。

倉林明子 参議院議員 に「なんでも聞いてみよう」の集い

7月18日にパセオダイゴローで、倉林明子参議院議員を迎えて、議会報告会が開かれ、馬場こうへい府議、西野さち子市議も参加をしました。

倉林議員は国会報告の後、「自分の両親は日本共産党員でした。ずっと、「あか」と村八分にされる意味が解らなかった。京都に来て看護師をする中で、共産党の歴史を知り、命を懸けて戦争に反対し、人権を守ってきた党だったことを知りました。悪いのは共産党ではなく、戦争に反対されたら困る人たちだったことを知り、村八分の意味が解り共産党に入りました」と語りました。



西野市議は「162億7100万円の補正予算が京都市会で通りました。

日本共産党市会議員団の5回にわたる申し入れが反映された部分もあります。しかし、GIGAスクール構想と言う国の施策に乗って、児童生徒に1人1台のタブレットを渡すための予算はこれまでの分を合わせると、58億円にもなります。この予算で先生の人数を増やし、少人数学級を進めるべきです」と報告しました。

議員日誌 醍醐陀羅谷の産廃処分場計画

醍醐山の大阪市側に、醍醐陀羅谷一ノ切～三ノ切という、静かな谷あいの地域があります。数年前からこの場所に、産業廃棄物の最終処分場をつくる計画があります。裁判でも決着がついていましたが、業者は宇治市側の狭い道を進路とする計画に変更して、手続きを始めています。

しかし、京都市長に対して、前回は大津市長から、今回は宇治市長から「住民の協力を得ないままの認可をしないよう」と意見書が出されています。

この場所は千丈川（1級河川）の上流部になり、河川の汚染が心配されています。西野市議は山根市議、馬場府議や宇



治市会議員、滋賀県会議員大津市会議員や地元自治会長さんなど14名で現地視察をしました。

大岩山が崩れた

7月8日の豪雨で、大岩山の1部がまた崩れました。高さ5m長さ10mにわたり崩れたもので、京都市は土がめくれただけと言いますが、住民の皆さんからは不安の声が寄せられています。土砂は早急に全量撤去すべきです。



困ったときは…日本共産党の生活相談所へ
毎週月・水・金曜日午前10時から午後5時
まずはお電話ください ☎ 621-6717